

## 日本の伝統食品"納豆" (ナットーキナーゼ) の血栓溶解効果

H. Sumi, H. Hamada, H. Mihara, K. Nakanishi\*, H. Hiratani\* Dept. of Physiology, Miyazaki Med. College, Miyazaki, Japan and Biochemistry Research Labo\*. of JCR Pharmaceuticals Co., Ltd., Kobe, Japan Thromb. Haemostas 62: 549, 1989

”納豆”と呼ばれる伝統的な発酵食品の有効な血栓溶解酵素の存在については、以前に報告した。(Sumi et al., Experimentia 43: 1110, 1987) 本研究においては、納豆とNKの経口投与によって、血漿中の血栓溶解活性の増加が周期的に評価されたことが明らかになった。納豆 ( $p < 0.01$ ) の1投与後、長時間にわたって (2~8時間) ELTの欠如とEFAの上昇が見られた。以前 (Sumi et al., Thromb. Res. 20: 711, 1980) と同様に、NK (たんぱく質2.13CU/mg、分子量約20Kd) の腸溶カプセルを用意した。カプセルはそれぞれ1.3gのNKを含有し、1日3回食後に投与し、血栓溶解パラメーターを計測した。NK投与前と後の数値においてWBCLTの有意な違いは見られなかったが、EFAは投与後1~8日間に徐々に増加した。

EDPはNK投与1日目には、投与前と比較すると統計的に高かった ( $p < 0.001$ )。TPA抗体 ( $p < 0.005$ ) の有意な増加も長期間にわたって証明された。

これらの結果から、納豆とNKは安全であり且つ大量生産可能なので、塞栓症治療に有効だけでなく、その予防にも有効であると考えられる。

- 
- 
-